2019 年度実施概要

学校名

熊本県水俣市立袋中学校

採択活動名

袋を愛でる（ふくろをめでる）

取り組みの概要

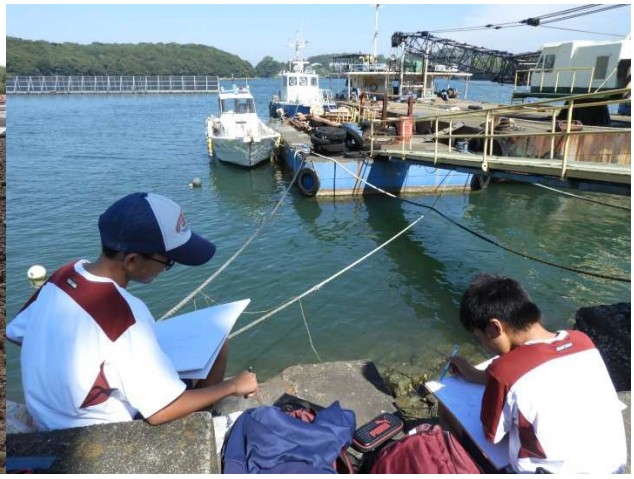
水俣市は「総合的な学習の時間」を「水俣科」として、故郷水俣を誇ることができる生徒づくりを目指している。その中で袋中学校では、地元の海を中心とした自然環境を知ることで、水環境と人とのつながり、この地域が、いかに貴重な自然を有している地域であるかを知り、自分の暮らす地域に自信を持てる生徒の育成を目指している。昨年度から各学年での学習を３年間とおして組み立てている。１年生で川の水環境調査を行い、人の生活が水環境に与える影響を考え、２年生では袋湾及び水俣周辺海域の水環境、さらに今年度から自然海岸を有し、希少生物が存在する袋湾西部海岸の生物調査と「干潟の生き物図鑑」の作成にも取り組んだ。３年生ではこれまでの取組み同様に、海と山と川のプログラムを実施した。

また、本校では、地域の方々と共に、袋湾環境保全協議会として「袋めでーる会議」を立ち上げている。今年度も生徒会長を中心に地域の有識者に呼び掛け会議を開き、今年度の活動計画の確認を行った。また水俣市の取組みである水辺のクリーンアップ作戦も含めて、年３回の袋湾の清掃活動を計画した。

5 月　袋湾環境保全協議会、第 1 回「袋（愛）めでーる会議」を開催。今年度計画の検討
7 月　下見調査、関係機関への呼びかけ。第 1 回干潟のクリーンアップ作戦
8 月　第 2 回「袋（愛）めでーる会議」を開催。今年度計画実施についての打ち合わせ。
9 月　オリエンテーション、各学年学習開始、「袋の海の絵」スケッチコンクール
10~12 月　3 年生海学校・山学校・川学校、2 年生干潟の生物図鑑作成、1 年生川環境調査、水俣病学習
　　第 3 回「袋（愛）めでーる会議」を開催。第 2 回干潟のクリーンアップ作戦
2 月　まとめ、海岸、河川の清掃活動
3 月　記録集作り。第 3 回干潟のクリーンアップ作戦

活動中の写真

干潟のクリーンアップ



海の絵スケッチコンクール

実施単元名　※実施した単元の数に応じて記載してください

1.1 年生川環境調査
2.2 年生干潟の生物図鑑作成
3.3 年生環境学習プログラム